

登録コード:MH139100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	精神看護学概論【20M以降】 Introduction to Psychiatric and Mental Health Nursing			
担当教員	下里 誠二 木下 愛未			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/ 1 年 後期(前半) 木曜・ 3 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 3 1 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	授業の達成目標		
	MH20カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。	人のこころの健康に関する幅広い知識を身に付け、人々のこころの健康を支援することができる		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。	精神看護の専門職者として、精神障害者に対する必要な感性を磨き、精神障害当事者に対する基本的な態度、技術を獲得して活用できる。		
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護			
	基礎的・専門的な知識と技能 看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	看護専門職に必要なこころの健康に関する幅広い教養を習得し、精神保健の場で活用できる		
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	精神保健に関する国際的な動向に関する知識を習得し、倫理・道徳的課題に取り組むことができる		
	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	精神看護および精神医療の歴史や現状を理解し、精神看護を展開するうえで基礎となる知識を習得するとともに精神障害者の人権について考えます。 本授業は1年後期に同時に学修する健康科学概論と合わせて学修することによって精神看護学の基礎を学びます。この授業が精神看護健康論（2年次）、精神看護方法論（3年次）、精神看護学実習（3年次）へ発展していきます。 本授業は、担当教員の精神科病院での精神科看護師としての実務経験を活かして講義を行います。本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。			
授業計画	第1回（10月 1日） 精神看護学とは （下里,木下） 第2回（10月 8日） こころの機能と構造 （下里,木下） 第3回（10月15日） こころと環境 （下里,木下） 第4回（10月22日） こころとライフサイクル・家族 （下里,木下） 第5回（10月29日） こころの病気 （下里,木下） 第6回（11月 5日） 精神医療の歴史と看護 （下里,木下） 第7回（11月12日） 精神医療福祉に関する法律（下里,木下） 第8回（11月19日） < 期末試験 > 最終日に授業アンケートを実施します。 全7回の講義のうち、1回分を「一般社団法人日本こころの安全とケア学会学術集会（信州大学にて開催）」のプログラムの参加に振り替えることがあります。			
授業の進め方	本授業は、パワーポイントのスライド、配布資料、映像資料に基づいて進めていきます。 能動的学習による理解の深化を目指すために、授業中や事前・事後課題における皆さんの意見や疑問を授業に取り入れて展開していきます。			
テキスト、教材、参考書	テキスト： 配付資料 参考書： 1）松本卓也．心の病気ってなんだろう？．平凡社 2）石原孝二．精神障害を哲学する：分類から対話へ．東京大学出版会 3）下里誠二・木下愛未編：精神医療における暴力とケア.金剛出版 その他、随時紹介します。			
成績評価の方法	事前課題・講義後の事後課題の提出状況・小テスト、期末試験に基づいて総合的に成績を評価します。総合的な評価の配分は、提出物の評価配分を40%、講義後の小テストを20%、期末試験の評価配分を40%とします。 事前・事後課題（毎回）は、その回の講義内容に関連したテーマが設定されます。授業中にその課題の内容について説明をします。 小テスト（毎回）は、その回の講義内容から出題されます。 期末試験は60点以上を合格とします。			
成績評価の基準	事前・事後課題の提出状況、小テスト、期末試験による成績評価の判定基準は、下記の通りとします。 90 - 100点：秀、80 - 89点：優、70 - 79点：良、60 - 69点：可 これらの採点の基準は下記の通りとします。 課題については記述内容について、授業で示した基本的概念での最低限の内容であれば「			

成績評価の基準	水準にある」、やや複雑な内容を含んでいれば「やや上にある」、自身で調べたやや複雑な内容を含んだ内容であれば「かなり上にある」、自身で調べた複雑な内容に自身の考案した内容が含まれていれば「卓越している」と評価します。 小テスト・期末試験について、授業で説明した範囲における最低限の問題が解ければ「水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、臨床に即したやや難しい応用問題が解ければ「卓越している」と評価します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 毎回授業の終わりに提示します。 【事後学習について】 終了時にe-alpsに提示します。この中には授業の感想・質問を含みます。 本授業の単位習得には45時間の学習が必要であるため以下のような学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）＋事前事後の学習時間30時間（4時間×7.5回）＝45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	質問への対応 下里誠二 sshimos@shinshu-u.ac.jp 木下愛未 akinoshi@shinshu-u.ac.jp 事前にご連絡のうえご相談ください。尚メールは受信トラブルを減らすため、2名の教員ともに宛先に入れてください。 保健学科中校舎4階 下里誠二研究室